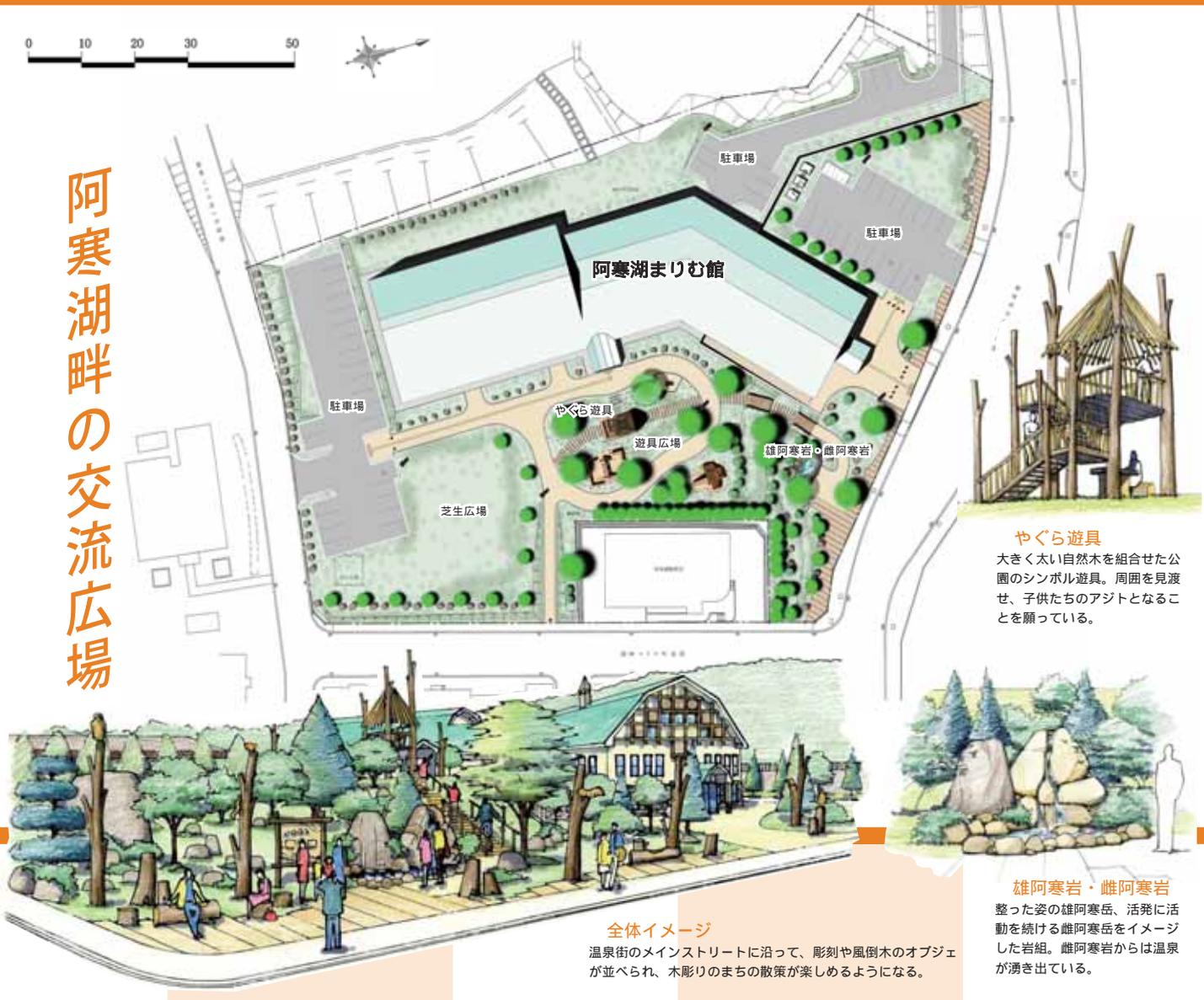
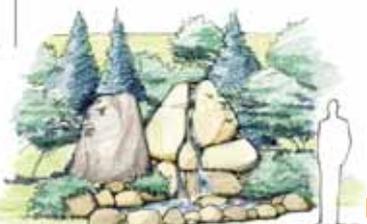


阿寒湖畔の交流広場



やぐら遊具
大きく太い自然木を組合せた公園のシンボル遊具。周囲を見渡せ、子供たちのアジトとなることを願っている。



雄阿寒岩・雌阿寒岩
整った姿の雄阿寒岳、活発に活動を続ける雌阿寒岳をイメージした岩組。雌阿寒岩からは温泉が湧き出ている。

全体イメージ
温泉街のメインストリートに沿って、彫刻や風倒木のオブジェが並べられ、木彫りのまちの散策が楽しめるようになる。

釧路市 阿寒湖まりむ館外構

敷地の概要

計画地は、釧路市の市街地から北西約60kmの阿寒湖畔に位置する旧阿寒町役場と、そこに隣接していた公園の跡地である。



阿寒湖畔のコタン

阿寒湖畔には道内最大のアイヌコタンがあり観光名所となっている。アイヌコタンでは祖先から伝承されてきた、伝統あるアイヌ古式舞踊や演劇を見学することができる。



写真:「LAKE AKAN SUMMER HOT SPRING」平成17年7月(阿寒観光協会)

整備のテーマ

温泉のまち阿寒

冬、建物の床暖房やロードヒーティングに利用される温泉水を、夏の観光資源として活用する。

木彫りのまち阿寒

屋外に置く施設は木を基調とし、大きな倒木や丸太等を使用した、ワイルドな木彫空間を創り出す。

おもてなしの場

観光客が立ち寄り、記念写真を撮りたくなるような場を創る。

阿寒らしい遊びの場

長年、地域住民に親しまれてきた「こども広場」の代替施設として、阿寒ならではの遊びの場を提供する。



地域主体の計画づくり

建築計画や外構計画、運営、利用計画にいたるまで、地元「建築計画委員会」が主体になって進められた。この委員には、観光協会のスタッフをはじめ、ホテルの経営者、地元彫刻家、公園管理の市民グループ、子育てサークルなど多くの住民が参加し、毎回熱心に議論を重ねてきた。